

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 3月 10日

事業所名 ここっと片町

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		午前・午後と利用時間を年齢やニーズに応じて分けることで、安全なスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		来所時・退所時のルーティンを習慣化しやすい空間旁を行っている。文字が読めない利用者の対して、シール等視覚的に判断できる工夫を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		職員間では5Sを意識している。気持ちの切り替えがしやすいよう、物理的に場所によって雰囲気を変えている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		出来る限り幅広い職員が研修に参加しやすいよう、複数の日程を設けて開催している。	
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に応じて日々プログラムを立案・実施している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で話し合い、日々の活動や支援内容を決めている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		週末のイベントは毎月立案している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
本の提供	16	○			
	17	○		朝礼では支援内容の確認を行っている。	
	18	○		一日の終わりに終礼を行い、情報の共有をすともにも議事録を残すことで出勤していない職員にも共有できるシステムになっている。	
	19	○		日々の連絡ノートの控え、専門療育の個人カルテを作成している。	
	20	○			
関係機関や保護者との連携	21	○			
	22	○			
	23				現在、在籍無し
	24				現在、在籍無し
	25	○			
	26	○			
	27	○			
	28		○		感染症対策の面を鑑み、積極的な交流の機会は設けていない状況
	29		○		感染症対策の面を鑑み、積極的な交流の機会は設けていない状況
	30	○			
	31		○		ペアレントトレーニングについては十分に行うだけの知識が不足している状況。研鑽は積んでいるが、現状は行っていない。必要に応じて直接的な紹介は行っていないが、ペアレント・トレーニングの概要を伝えるようにしていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	親子で参加できるイベントを実施している。	今後も土・日のイベント時等に保護者様のご来所できる機会を作ってまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		感染症対策の面を鑑み、地域住民等の招待をするようなイベントは企画できていない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギー有無のヒアリングだけでなく、施設から食事を提供する際は事前に使用する食材をお知らせしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		安全会議にてヒヤリハットの振り返りを行っている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。